

<「現認書」と「災害状況報告書」の違い>

「現認書（支部様式1）」は、同僚等の目撃者がいる場合、その目撃者が記載
「災害状況報告書（支部様式2）」は、目撃者がいない場合、被災職員から災害発生
の報告を受けた職場の上司等が記載

(支部様式2)

地方公務員災害補償
災害状況報告書

地方公務員災害補償基金

山梨県支部長殿

〇〇 〇〇年 〇〇月 〇〇日

(現認者) 住所

(所属・職名)

氏名

「職名」の記入を忘れずに

下記職員の災害状況について次のとおり確認しましたので報告します。

記

被災職員	(所属団体名)	(所属部課名)
	(職名)	(氏名) フリガナ (年齢)
災害発生の日時	〇〇 〇〇年 〇〇月 〇〇日	午前 時 分頃 午後
災害発生の場所		

(災害状況)

〇月〇日午前〇時〇分頃、〇〇が出勤のため通常通り自家用車により自宅を出発し、〇〇市〇〇町〇〇番地の交差点で信号待ちをしていたところ、後続の自動車に追突され、直後から首に痛みを生じたため、救急車で〇〇病院へ搬送されたと、午前〇時〇分頃、本人から電話で連絡を受けた。

認定請求書の「2 災害発生の状況」欄の記載を引用せず、災害発生の連絡を受けた方が被災の状況を自身の言葉で記入する。

連絡を受けた状況、「だれから、いつ、何によって（手段）」も詳しく記載すること。